

09 膵臓癌

※ レジメン名称を [クリック](#) または [Ctrl](#) + [クリック](#) してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#) を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	09001-1A	GEM 単独療法(膵臓)	
2	共通	09002-1A	S-1+GEM 療法	
3	科別(外科)	09004-1B	weekly high dose 5-FU 動注療法	膵癌肝転移
4	共通	09005-2A	FOLFIRINOX 療法(アロキシ)	
5	共通	09006-1A	nab-Paclitaxel+GEM 療法	
6	共通	09007-1A	mFOLFIRINOX 療法(アロキシ)	
7	共通	09008-1A	オニバイド+5-FU/I-LV 療法	
8	科別(外科)	09009-1B	ゲムシタビン+エルロチニブ療法	

09001

膵臓癌

GEM 単独療法(膵臓)

申請科

外科

H23.1 改訂 H.27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m ²	div(30分)	day1、8、15
3投1休 4週毎 効果なくなるまで			
化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
	day1、8、15		
15分	メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B		
30分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
備考			
【レジメンシステム登録】			
09001-1A GEM 単独療法(膵臓)			

09002

膵臓癌

S-1 + GEM 療法

申請科

内科

H23.1改訂 H28.9改訂 H29.6改訂 H30.1改訂 H30.9改訂 H31.2改訂 R2.6改訂 R3.5改訂

薬品名	1日投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エスワンタイホウ (S-1)	1. 25㎡未満: 40mg/回 1. 25㎡~1. 5㎡未満 50mg/回 1. 5㎡以上 60mg/回 1日2回朝夕食後 (80mg/㎡/Day)	p.o.	day1(夕)~15(朝) 7日間休薬
ゲムシタピン (Gemcitabine)	1000mg/㎡	div. (30min)	day1、8
3週毎。効果なくなるまで			化療ベット予約:1時間で登録
Regimen			
内服	day1(夕)~15(朝)(7日間休薬) エスワンタイホウ()mg 分2 朝夕食後		
15分	day1、8 メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B		
30分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタピン点滴静注用()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
		備 考	
		<ul style="list-style-type: none"> ・S-1は他のフッ化ピリミジン系薬剤とは併用禁忌。前治療がある場合は、投与終了後7日以上経過していることを確認し、残薬の所持を確認する。残薬所持の場合は、併用しないようにする。 ・S-1は腎機能(CRE、Ccr)が施設正常範囲内であることを確認する。逸脱する場合は、減量もしくは投与不可となる。 	
		【レジメンシステム登録】	
		09002-1A S-1 + GEM 療法(入院用) ・S-1 は処方オーダー入力	
		09002-2A S-1 + GEM 療法(外来用) ・S-1 は処方オーダー入力	

09004

膵臓癌肝転移

weekly high dose 5-FU 動注療法

申請科

外科

H24.10 月登録 H.28.9 改訂 H30.9 改訂 科別(外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルオロウラシル (5-FU)	1000mg/m ²	リザーバー肝動注 (シェアフューザー使用) 5時間	1週間毎
1週間毎。PD となるまで。転移性肝癌, 再発・進行, stageIV, PS;0-2			
Regimen			
持続 動注 5時間	day1 リザーバーから 動注①生理食塩液 20mL 1本 フラッシュ 動注②生理食塩液 50mL フルオロウラシル注 ()mg ※全量 50mL に調製する 動注用リザーバーから、 シェアフューザー使用		
	動注③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本		備考 【レジメンシステム登録】 09004-1B weekly high dose 5-FU 動注

09005

膵臓癌

FOLFIRINOX 療法

申請科

外科

H26.7 改訂 H28.9 改訂 H30.9 改訂 H31.2 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
オキサリプラチン (oxaliplatin)	85mg/m ²	div.(120min)	Day1
イリノテカン (irinotecan)	180mg/m ²	div.(90min)	Day1
フルオロウラシル (5-FU)	400mg/m ² 2400mg/m ²	div.(15min) div.(46h) 静注ポート	Day1 Day1~3(46h)
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg/m ²	div.(2h)	Day1
2週毎			
可能な限り継続			
化療ベット予約:5 時間で登録			
Regimen			
	day1	5分	側④生理食塩液 50mL 1B
30分	ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ 1本 メイン①生理食塩液 100mL 1B アロキシ注 0.75mg 1V デキサート注 6.6mg 1V		day1~3 静注ポート(シュアーフューザーA SFS-1036HRP)
2時間	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg	46時間	ポート②フルオロウラシル ()mg 生理食塩液 100mL ※全量 100mL に調製する (ポート② = 2400mg/m ²)
2時間	メイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート()mg		ポート③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本
90分	側②(メイン②と同時に) 5%ブドウ糖液 250mL 1B イリノテカン ()mg	備 考	
15分	側③(メイン②終了後) 5%ブドウ糖液 100mL 1B フルオロウラシル ()mg (側③ = 400mg/m ²)	【レジメンシステム登録】 09005-1A FOLFIRINOX 療法 09005-2A FOLFIRINOX 療法(アロキシ) ※H26.7 イリノテカンにおいて「切除不能の膵臓癌」の適応が追加となったため、カンプト(科限定薬品)からイリノテカン(採用品)に変更した	

09006	膵臓癌	nab-Paclitaxel+GEM 療法	申請科
			外科

H27.2登録 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg / m ²	div (30分)	Day 1、8、15
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)	125mg / m ²	div (30分)	Day 1、8、15
3投1休 4週毎 効果なくなるまで			
化療ベット予約：2時間で登録			
Regimen			
	day1、8、15		
30分	メイン①生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6.6mg 1V アロキシ注0.75mg 1V		※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{125\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$
30分	側①生理食塩液 () mL ※アブラキサン ()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B		
30分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg		
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
備 考			
※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・nab-Paclitaxel+GEM 療法においては両剤ともにインラインフィルターは使用しない。 (平成 29 年度第 11 回化学療法委員会で決定) 【レジメンシステム登録】 09006-1A nab-Paclitaxel+GEM 療法			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
09007-1A	共通	膵臓癌	mFOLFIRINOX 療法(アロキシ)	消化器内科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()		
PS;0 ~ 1 (まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
オキサリプラチン (oxaliplatin)	85mg/m ²	div.(120min)	Day1	
イリノテカン (irinotecan)	150mg/m ²	div.(90min)	Day1	
フルオロウラシル (5-FU)	2400mg/m ²	div.(46h) 静注 ポート	Day1~3(46h)	
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg/m ²	div.(2h)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎	化療ベット予約: 5時間で登録		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	5分	側③生理食塩液 50mL 1B	
30分	day1 ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ 1本	46時間	day1~3 静注ポート(シュアーフューザーA SFS-1036HRP)	
	メイン①生理食塩液 100mL 1B アロキシ注0.75mg 1V デキサート注 6.6mg 1V		ポート②フルオロウラシル ()mg 生理食塩液 100mL ※全量 100mLに調製する (ポート②) = 2400mg/m ² ポート③ヘパリン Na ロック用(100単位/mL) 10mL 1本	
2時間	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B オキサリプラチン点滴静注液()mg	備 考		
2時間	メイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート()mg			
90分	側②(メイン②と同時に) 5%ブドウ糖液 250mL 1B イリノテカン ()mg	【レジメンシステム登録】 09007-1A mFOLFIRINOX 療法(アロキシ)		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
09008-1A	共通	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な膵癌膵臓癌	オニバイド+5-FU/LV 療法	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行		
PS; 0 ~ (2 まで)		<input type="checkbox"/> その他()		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オニバイド (Irinotecan Hydrochloride Hydrate)	70mg/m ² ※	div.(1.5h)	Day1	
フルオロウラシル (5-FU)	2400mg/m ²	civ.(46h) 静注ポート	Day1~3(46h)	
レボホリナート (levofolinatecalcium)	200mg/m ²	div.(2h)	Day1	
インターバル日数・最大投与回数(End point)	2 週毎・回	化療ベット予約:	4 時間で登録	
Radiation 併用 有・ <input type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr	
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
15 分	day1 ポート①生理食塩液 20mL フラッシュ 1本 マイン①生理食塩液 100mL 1B アロキシ注 0.75mg 1V デキサート注 6.6mg 1V デキサート注 1.65mg 2A		46 時間	day1~3 静注ポート(シュアーフューザーA SFS-1036HRP) ポート②フルオロウラシル ()mg 生理食塩液 100mL ※全量 100mL に調製する (ポート②) = 2400mg/m ² ポート③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本
90 分	側①5%ブドウ糖液 500mL 1B オニバイド点滴静注 ()mg			
2 時間	マイン②5%ブドウ糖液 250mL 1B レボホリナート ()mg		備考 ※UGT1A1*6 若しくは UGT1A*28 のホモ接合体を有する患者、又は UGT1A1*6 及び UGT1A*28 ヘテロ接合体を有する患者にはオニバイドの開始用量は 50 mg/m ² とする。忍容性が良好な場合は2クール目以降 70 mg/m ² を考慮。 ・投与時、インラインフィルターは使用しない。	
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B			
【レジメンシステム登録】 09008-1A オニバイド+5-FU/LV 療法				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
09009-1A	科別	切除不能膵癌	ゲムシタビン+エルロチニブ療法	外科・消化器外科
適応患者				
病期(stage): I IIa IIb IIIa IIIb IV PS: ~ (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
ゲムシタビン	1000mg/m ²	点滴静注 30分	Day 1, 8, 15	
タルセバ(エルロチニブ)	100mg/body/day	内服 食後2時間以降	毎日	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・回	化療ベット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
内服	連日 タルセバ錠 100mg 1日1回 食後2時間以降			
15分	day1、8、15 メイン①グラニセトロン点滴静注 1mg/50mL 1B			
30分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B			
備 考				
<p>・タルセバ錠は副作用の発現により用量を変更する場合には、50mgずつ減量すること。</p> <p>【レジメンシステム登録】 09009-1A ゲムシタビン+エルロチニブ療法 ・エルロチニブは処方内服オーダー</p>				